

10月14日(日)、ファミリーセンター大ホールで、八百津中学校吹奏楽部第8回定期演奏会が開催されました。学校関係者だけでなく、たくさんの方の地域の方も訪れ、その元気いっぱい、フレッシュな演奏に心を打たれました。

八百津中学校吹奏楽部は、普段から地域の行事で積極的に演奏活動を行っています。

昨年からは、吹奏楽部をもたない八百津高校の野球部に協力し、7月15日(日)には夏の全国高等学校選手権記念大会岐阜県予選において、応援の演奏を披露しました。

また、7月28日(土)に開催された吹奏楽コンクール可茂・東濃地区大会では、23年ぶりに見事金賞を獲得、地区代表として県大会出場を果たしています。

演奏だけではありません。6月10日(日)に開催された「青少年を育てる会」では、明るいあいさつなど、学校全体の手本となったことから、人道賞を受賞しています。

八百津中学校吹奏楽部の躍進の秘密に迫ってみました。

地域のみなさんが、 私たちが成長させてくれました 八百津中学校吹奏楽部の躍進

開演前、定期演奏会に訪れたお客さまから、こんなお話を聞きました。「私は、八中吹奏楽部のファンでね、今日も楽しみにしていたのよ」

彼らの何が、こんなにお客さまを引きつけるのでしょうか。それは、演奏や仕草からにじみ出る、素直さにあるのではないのでしょうか。顧問の富田先生の指揮をじつと見つめ、いきいきと演奏する姿を見ていると、吹奏楽が好きな気持ちが伝わってきます。

「地域の行事や野球部への応援が、私たちが成長させてくれました。地域のみなさんに育てていただき、本当に感謝しています。これからも、演奏活動をとおして、八百津町のみなさんに音楽の楽しさを伝えていきたいと思います」

部長の長瀬陽菜乃さんが感謝の気持ちを伝えようと、会場にはひときわ大きな拍手が湧き起こりました。

